



私と陸上競技

おと い 桜十一さん(高2)
清家 ゆう た 悠大さん 二宮 ひより 緋愛さん(高1)



◀ 左から二宮さん、笛木さん、清家さん

“目標は皆同じ、『インターハイ』”

高校の部活動見学の際に先輩の全力な姿に心奪われ陸上部に入部し競歩を始めた笛木桜十一さん、父の影響で陸上を始め父と同じ三段跳に挑戦している清家悠大さん、先生からの勧めをきっかけに小学生の頃からハードル競技を続けている二宮緋愛さん。南宇和高校陸上部に所属する3人は、9月下旬に愛媛県総合運動公園陸上競技場で開催された「愛媛県高校新人陸上競技大会」で上位の成績を収め、10月中旬に香川県で開催された「四国高校新人陸上競技選手権大会」への切符を手に入れました。

笛木さんは実力を最大限に発揮するため自身が出場する5000m競歩の練習に励む中、直前に故障し棄権。しかし、「今回の悔しさがさらに上を目指したいという思いにつながった」と話し、すでに次の大会を見据えて気合いを入れ練習に取り組んでいます。高校一年生の中で三段跳全国5位(取材日時点)の記録を持つ清家さんは県大会で13m96cmをマークし、四国大会では3位入賞。三段跳は高い技術が求められる競技と言われ、「自分より強い選手の競技を見ることで技術的なことはもちろん、他の選手の礼儀作法についても刺激を受けた」と大会で得た学びを話しました。100mハードルに出場し3位の成績を収めた二宮さんは、「100mの走力とハードルを越える力が必要な種目」と話しますが、小学生の頃からの経験と先生の教えを常に意識して練習に励んでいます。

四国大会での経験と強豪選手との戦いを経て、志すのは3人共通して「インターハイ出場」。異なる種目でありながらも互いに切磋琢磨し自己ベストの更新、大会での上位入賞を目指し日々の練習に励んでいます。さらなる高みを目指し、これから冬の体力づくりに臨みます。

編集後記

寒さと乾燥を感じ、ハンドクリームが欠かせない季節になりました。手は第2の顔ともいわれ、手先がきれいだとそれだけで上品に美しく見えることもあり、最近はおしゃれだけでなく、美容や身だしなみとして気軽にネイルを楽しむ女性が増えているそうです。私も時々ネイルをするのですが、きれいな指先とバランスが取れるよう中身も美しくありたいと思う今日この頃です。

町内で3年ぶりに神輿などが巡った地域も多かったのではないのでしょうか。今年も愛南フォトクラブの方々のお力を最大限お借りして、祭りの様子をお届けすることができました。クラブの方と写真の撮り方やカメラの機能について話す機会がありました。全くとっていいほど話についていけず。写真の技術は追いつけなくても、カメラ愛は追いつけるようにまずは機種名を覚えまして。 M

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

愛南町の世帯数と人口
令和4年11月1日現在

世帯数	10,035世帯	(-8世帯)
人口	19,654人	(-30人)
男	9,338人	(-15人)
女	10,316人	(-15人)
愛南町の高齢化率	45.7%	
※ () 内は前月比		
10年前同月の人口	24,540人	